



オリンピック選手 津奈木町に生る

町長 斎藤 亀齡

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(代表115番)
編集人 岡松壮
印刷所 緒方印刷所
八代市通町
電話(八代)代表3117番

津奈木

○生れる
「何だつて！生れた？」普通赤
ちゃんが母親の胎内から「オヤア
とびだすことを生れたという
オリンピック選手も然りで、吉野
伸篤選手が、母親の津奈木町から
決戦という最後の陣痛を経て、
児童オリンピック選手として誕生
したのである。お見事く、我々

したのである。

お見事く、我々

アゴしやんと私



コーチ 石田 勝

(水俣市役所)

39年8月の代表決定戦で自衛隊組に惜敗、2位で捕欠になってしまった。

寝食を共に2年余、兄弟分のペドレーニングに耐え、酷暑の夜学校の板張りにゴロ寝しながら、

おツリの来る便所でツリ便を除け、雀のような蚊を追っての合宿だったが、そのくらきは忘れられない。まして本人のアゴしやん

ペアは何をか言わんや——直後、私は田原さん（水天荘）と二人、日本カヌー協会へオリンピックの競選事務のため上京、内外国

のスポーツや近代トレーニング等の勉強をすることができた。

この一年で私の人生をひたすらさせてしまったとも言える。本当に

この年の人生をひたすらさせられた。

実力は私よりはるかに立派なものであったが、彼は常に私を先輩

としてたゞくれた。魚釣もよく

つれていた。仮泊の祭やペーロン大会にも行った。よく

アゴしやんと一緒に泳ぎ、トラン

グは日ごとにきびしくなった。

一方、合宿や遠征費等、火の車

はもえ盛るばかり、家族の心配、

ホープが日本のホープとなり42年には、メキシコオリンピックの候補選手に選ばれた。

その責任は重々しく、トレーニ

ングは日ごとにきびしくなった。

一方、合宿や遠征費等、火の車

はもえ盛るばかり、家族の心配、

ホープが日本のホープとなり42年には、メキシコオリンピックの候

相撲も取った。実に楽しい交友だったのも彼の人生の所為である。

私の厳しいトレーニングによく

やややった。アルバイトもやつた。土方

耐え、いつも先頭で張りきつけてく

れた。効果は上がった。40年・42年

の全日本で優勝……多分メダルも

馬鹿ばらいたまつた事だろう。

うな話にアホと言われて続ければ

ならなかつた。「吉野さん」と呼

ばれる彼の人生があつたればこそ

始まり、それからしばらく低调が

続いた。彼の最後の苦闘がここに

あつた。

私もせつた——七年間の努

めが水泡となって消失失せるのか

と思つて、誰にも言えぬだけに実

に淋しかつた。考えに考えた。

そのドタバタで彼から新靴を購入

した。相談を受け、実物を見て、

乗つて見たら実にいい感じがする。

私がせつた——七年間の努

めが水泡となって消失失せるのか

と思つて、誰にも言えぬだけに実

に淋しかつた。考えに考えた。

そのドタバタで彼から新靴を購入

した。相談を受け、実物を見て、

乗つて見たら実にいい感じがする。

私がせつた——七年間の努